

# 第12回静岡県高齢者福祉研究大会

## 研究発表募集要綱

平成21年から開催して参りました静岡県高齢者福祉研究大会は、コロナ禍の影響で3年間会場（集合）開催を中止してきましたが、今年より感染対策を行いながら第12回大会を会場（集合）開催にて行うことになりました。

日頃から高齢者の暮らしを支える施設職員が、より良いケアを目指して取り組んだ実践や研究を伝え合う本大会は、お互いに刺激し合い、成長する場となり、それが県内の介護サービスの向上に繋がっているものと思います。

介護の魅力を再認識し、介護を楽しくやりがいのあるものに変えていけるよう、また静岡の介護力の更なる向上を目指して、施設職員の皆様からの多数のご応募をお待ちしております。

### 『未来へつなぐ ふじのくにの介護力』

～今だから感じることを伝えよう～

日程：令和5年9月21日（木）

会場：静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ（静岡市）

#### 応募資格

静岡県老人福祉施設協議会々員施設の職員

#### 募集題数

66題

1施設1題とし、先着順で66題に達し次第、締め切らせていただきます。

#### 発表方法

マイクロソフト PowerPoint2016 を使用します。

発表時間は1題12分です。また、発表者は2名以内とします。

#### 応募方法

所定の研究発表参加申込書に必要事項をご記入いただき、**5月31日(水)**までに**Eメール**で事務局へお申込み下さい。

◆発表申込書は、県老施協のホームページからダウンロードして下さい。

#### 抄録の提出

抄録は指定の様式によりワードで作成し、**6月30日(金)**までに**Eメール**で事務局へご提出下さい。（提出していただいた抄録は参加者に配布します。）

◆抄録の様式は、県老施協のホームページからダウンロードして下さい。

◆抄録作成の詳細は後述の[抄録の書き方](#)を参照して下さい。

**パワーポイント  
データの提出**

発表用のパワーポイントスライドは、USBメモリに保存のうえ、  
7月31日(月)までに事務局へ、郵送等で提出して下さい。  
(提出していただいた媒体は後日お返しします)

◆動画作成の詳細は発表をお申込みいただいた施設に改めてご連絡します。

**応募の流れ  
申込先**

応募の流れ	申込先など	締切
①研究発表の 申込み	静岡県老人福祉施設協議会事務局へ メールでお送りください。(FAX 不可)  申込書はホームページからダウンロード できます。	5月31日(水) 必着
②抄録原稿の 提出	静岡県老人福祉施設協議会事務局へ メールでお送りください。(FAX 不可)  様式はホームページからダウンロード できます。	6月30日(金) 必着
③パワーポ イントデー タの提出	<u>USBメモリ</u> に保存し、静岡県老人 福祉施設協議会事務局へ、必ず郵送 (宅配便可)をお願いします。  *データサイズが大きくなるためメール 送信は不可 (USBメモリは後日返却 します。)	7月31日(月) 必着 <u>提出後の差替えは お受けできません</u>
④発表(当日)	令和5年9月21日(木) グランシップ(静岡市)	

<申込先>

静岡県老人福祉施設協議会 事務局  
〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館内  
TEL<054>653-2311 FAX<054>653-2312

※発表申込用紙及び抄録様式のダウンロードはこちらから。

<ホームページ> <http://www.shizu-roshikyo.jp/seminar/>

※発表申込み及び抄録の提出はこのメールアドレスへお送りください。

<メールアドレス> [sizurosi@vesta.ocn.ne.jp](mailto:sizurosi@vesta.ocn.ne.jp)

## 研究発表のテーマ

※次のテーマの中からお選びください。

番号	テーマ	趣旨	発表例
1	中重度ケアの実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症ケアに関する実践を通し、その人らしい暮らしを支える。</li> <li>・認知症予防に関する先駆的な取組みを実施し、地域で暮らす。</li> <li>・医療との連携を図り、健康への専門的支援を実践する。</li> <li>・施設内外の専門職と協働し、チームケアの実践が期待される。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①認知症ケアの実践</li> <li>②ケアプランの取組</li> <li>③認知症カフェ等との連携</li> <li>④身体拘束廃止の取組</li> <li>⑤医療的ケアの実践</li> <li>⑥看取りケアの取組</li> <li>⑦褥瘡防止の取組</li> <li>⑧入浴・排泄・食事の専門的な取組</li> </ol>
2	暮らしを楽しむ工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの生活習慣や好みは人それぞれ。その方にとっての暮らしやすさ、楽しい暮らしとは何か。</li> <li>・8050問題等、家族への支援が必要となる現在、相談支援として家族へのアプローチを考える。</li> <li>・自立支援に向けた取組みの工夫。</li> <li>・養護・軽費等専門的支援。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①アセスメントシートの活用</li> <li>②自立支援に向けた取組</li> <li>③レクリエーションの取組</li> <li>④介護技術向上の取組</li> <li>⑤家族支援の取組</li> <li>⑥買い物支援・外出支援の取組</li> <li>⑦介護予防・在宅復帰への支援</li> <li>⑧その方の習慣や嗜好に応じた支援</li> </ol>
3	多職種協働・連携の実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設ケアの実践において、介護・看護・リハビリ・栄養・調理等のスタッフの総合的なチームケアが不可欠となっている。</li> <li>・施設内外の専門職との多職種連携、チームケアの実践が期待されている。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①身体拘束廃止の取組</li> <li>②褥瘡防止の取組</li> <li>③感染症防止の取組</li> <li>④リスクマネジメント（事故防止）の取組</li> <li>⑤施設内カンファレンスの取組</li> <li>⑥アセスメントシート活用</li> <li>⑦口腔機能ケア・栄養マネジメントの取組</li> </ol>
4	魅力ある職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護人材の育成・確保が喫緊の課題となっている。施設（事業所）がどのような人材育成、処遇改善、介護機器等に関する取組みを行っているか検証する。</li> <li>・EPA等、外国人労働者への配慮を行い、介護力向上に関する支援。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①働き方改革への取組</li> <li>②職場研修制度、資格取得の取組</li> <li>③人事管理、人事評価、労務管理</li> <li>④職員満足度を高める取組</li> <li>⑤介護ロボット・AI・ICT</li> <li>⑥外国人技能実習生、EPA等への取組</li> <li>⑦人材確保の取組・定年の見直しの取組</li> </ol>
5	在宅サービスの取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期入所、通所介護、訪問介護、地域包括支援センター等の実践例を通し、介護、介護予防、総合事業等の在り方を学ぶ。</li> <li>・地域包括ケアシステムの構築に向けて、介護、医療、介護予防、住まい、生活支援等の一体的提供体制の構築が課題となっている。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①地域包括支援センターの実践例</li> <li>②居宅介護支援サービスの実践例</li> <li>③短期入所サービスの実践例</li> <li>④通所介護サービスの実践例</li> <li>⑤訪問介護サービスの実践例</li> <li>⑥訪問看護サービスの実践例</li> <li>⑦総合事業の取組</li> <li>⑧地域連携パスの取組</li> </ol>
6	社会福祉法人における取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域共生型サービスの位置づけ」等が掲げられ、地域福祉推進が求められている。</li> <li>・社会福祉法人の使命と地域貢献等の取組みについて考える。</li> <li>・施設設備、災害・防災対策等についての取組事例を学ぶ。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①我がこと・丸ごとの共生社会づくり</li> <li>②地域・まちづくりの取組</li> <li>③地域貢献・公益的な取組</li> <li>④施設整備</li> <li>⑤災害・防災対策</li> <li>⑥防災協定・施設間交流の取組</li> <li>⑦ボランティアの発掘・養成</li> </ol>
7	コロナ禍における取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の流行により、介護現場は日々難しい対応が求められている。試行錯誤しながらも、コロナ禍でサービスを提供し続ける私たちの取組事例を共有する。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①感染症予防策の取組</li> <li>②陽性者発生時の対応</li> <li>③面会制限・家族との情報共有の取組</li> <li>④コロナ禍におけるサービスの工夫</li> <li>⑤施設間の連携・応援の取組</li> <li>⑥地域との連携・地域での役割</li> </ol>

**申込書の  
記入例**

令和 5年 月 日

静岡県老人福祉施設協議会  
会長 種岡 養一様

提出日をご記入ください

**第12回 静岡県高齢者福祉研究大会 研究発表参加申込書**

演題	認知症高齢者の生活リズム改善を目指して	
副題(ある場合には)	～昼夜逆転の事例改善を通じて～	
施設種別	特別養護老人ホーム	
ふりがな 施設・学校名	すんぷのその 特別養護老人ホーム 駿府の園	
住所	〒420-1856 静岡市葵区駿府町 1-70	
電話番号・FAX番号	(TEL) 054-653-2311 (FAX) 054-653-2312	
Emailアドレス	sizurosi@vesta.ocn.ne.jp	
発表 予定 者	ふりがな 職名・氏名	すんぷ いちろう 相談員 駿府 一郎
	ふりがな 職名・氏名	あおい やすこ 介護員 葵 康子
担当者職・氏名	事務員 静岡 一郎	
備考	平日昼間に連絡できる方をご記入ください	

発表者は2名まで

※この申込書は、静岡県老人福祉施設協議会宛にEメールで提出してください。  
(FAXでは受け付けません)

※申込み期限 5月31日(水)

ただし、先着順で66題に達し次第、締め切らせていただきます。

提出先：静岡県老人福祉施設協議会事務局（大会実行委員会）  
E-mail：sizurosi@vesta.ocn.ne.jp  
TEL：054（653）2311

## 抄録の書き方

抄録は、手書きでなくパソコンを用いて Word で作成してください。様式は県老施協のホームページよりダウンロードできます。(必ず指定の様式A 4版1枚にまとめて下さい。)また、提出していただいた抄録は、そのまま配信しますので誤字、脱字等にご注意下さい。

研究発表のテーマの番号は、必ずご記入下さい。(3ページ参照)

文字の書体はMS明朝体で、大きさは演題12ポイント、副題11ポイント、法人・施設名や職種・発表者名等は11ポイントで記入して下さい。

本文は10ポイントで記入し、一行を全角23文字で左右2ブロックの枠内に収まるよう構成して下さい。図表等を入れる場合も必ずこの範囲に収めて下さい。

本文は原則として、〈取り組んだ課題〉、〈具体的な取組〉、〈活動の成果と評価〉、〈今後の課題〉、〈参考資料〉の順に構成して下さい。

文章構成や振り分けは発表者にお任せしますので、見やすくわかりやすい抄録を作成して下さい。また、提出期限**6月30日(金)**をお守り下さい。

### 発表事例のプライバシーの保護に十分配慮すること(必ずご確認ください)

- ・人物の特定が可能な氏名、イニシャル又は「呼び名」は記載しない。
- ・人物の住所、出身市町村名を記載しない。
- ・氏名、住所ともイニシャル(例：R子、U.N、S市、K町など)を使用しない。  
(記載する場合はAさん、Bさん、A市、B町などとする)
- ・生年月日を記載しない。(年齢の記載は可)
- ・事例の内容については、論旨に影響を生じない範囲で内容を変更し、文中にそのことを明記するか、発表に関する同意を本人や保護者から得た上で、それを明記する。  
(記載例)「なお、プライバシー保護のため、一部の記載内容に対して論旨に影響を生じない程度の変更を加えた。」

抄録の記入例

研究テーマの分類番号、テーマ名を忘れずにご記入下さい

記入しない

[Empty box for recording]

【発表テーマ】 番号 ① テーマ 認知症ケアの専門性

募集要綱の研究発表のテーマの番号とテーマ名を上欄に記入して下さい。

演 題 : 認知症高齢者の生活リズム改善を目指して

副題があればご記入下さい

副 題 : ~昼夜逆転の事例改善を通じて~

種別・施設名 特別養護老人ホーム 駿府の園

施設種別と施設名をご記入下さい  
施設名にはふりがなを付けて下さい

職 名 ・ 発表者名

相談員 ・ 駿府 一郎

職種と氏名をご記入下さい  
氏名にふりがなを付けて下さい  
発表者は2名までとします

介護員 ・ 葵 康子

TEL (054) 653 - 2311 FAX (054) 653 -

E-mail : sizurosi@vesta.ocn.ne.jp http://www.shizu-roshikyo.jp/

施設概要 当施設は 施設のメールアドレスと、ホームページがあればそのアドレスも記入

市の葵区に位置し、施設のすぐそばには駿府城公園があり、施設内にもたくさんの草花が生き生きとしている自然に囲まれた施設です。

施設概要はわかりやすく簡潔に

<取り組んだ課題>

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

<具体的な取組>

発表の内容と同程度、又は発表の要点のみをまとめていただいても結構です、又、写真や図表等も利用するなど工夫してみてください。  
枠の範囲内で記載してください。

<活動の成果と評価>

<今後の課題>

文字の書体はMS明朝体で、大きさは演題12ポイント、副題11ポイント、施設名や発表者名等は11ポイント、本文(施設概要含む)は10ポイントで記入して下さい。